
『囚われのお姫様』

zzzz

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『囚われのお姫様』

【Zコード】

Z0403Q

【作者名】

ZZZZ

【あらすじ】

氷の塔に幽閉されたお姫様の話

或いは、“仁科 粟”が辿るはずだった末路の話

本作品は、『水面の記憶』の作中で語られる話の抜粋です。

『水面の記憶』<http://ncode.syosetu.com/m/n3270n/>

あるところに、気まぐれな悪い魔女にさらわれて、雪の国にある、高い氷の塔の最上階に囚われた、とある国の、美しいお姫様がいました。

このお姫様には、塔から少しでも外に出ると、見るもの聞くもの全てが、正しく見えず、正しく聞こえないといつ、恐ろしい呪いがかけられていきました。

ある日、遠征の果てに辿り着いた国の兵士達が、お姫様を助けにきました。

兵士達は、お姫様に助けに来たことを伝えようと、大声で呼びかけました。

外から聞こえる声に気付いた、お姫様は、それを確認する為に、窓から顔を出して、下を見ました。

しかし、お姫様が目にしたのは、塔の下に群がっている、不気味な怪物の群れが、こちらを見上げていて、怪物共は、そこから飛び降りて、俺達の餌になれと、罵る恐ろしい声が次々に、聞こえてました。

お姫様は怖くなつて、小さな窓を閉めてベッドに隠れて、怖くて震えていました。

この後、窓を閉める音で、兵士達に気づいた魔女は、魔法で兵士達を、追つ払ってしまいました。

またある日、今度は隣の国の王子様が、遠路はるばる単身で、お姫様を助けにきました。

王子様は、お姫様のいる牢の小窓へ向かって、小石を投げて、救出に来たことを知らせながら、魔女に気付かれないように、静かに氷の塔を、よじ登り始めました。

外から聞こえる物音に、気付いたお姫様は、それを確認する為に窓から顔を出して、下を見ました。

しかし、お姫様が田にしたのは、不気味な目玉を手にして、今まさにそれを、投げつけようとしている、恐ろしい姿の魔女が、

氣味の悪い顔で、あざ笑っているのが見えました。お姫様は怖くなつて、小さな窓を閉めてベッドに隠れて、怖くて震えていました。

この後、窓を閉める音で、王子様に気づいた魔女が、魔法で王子様を塔から落としてしまい、

王子様は、大怪我をしてしまい、逃げ帰りました。

これ以降も幾度となく、救出の手は差し伸べられましたが、お姫様にかけられた呪いのせいで、全て失敗に終わり、救出へ向かう者たちの数は、日増しに減っていました。

やがて月日は流れ、お姫様の存在は忘れられていき、
お姫様も、半ば諦めていました。

ある日、お姫様は窓から、
空を飛ぶ、大きな鷲の姿を見ました。
あの大鷲なら、私をここから、
救い出してくれるかも知れない。

お姫様はこれを、最後の希望と信じてみる事にしました。

お姫様は、大鷲が助けに来てくれる事を願つて、
毎日祈りました。

お姫様の願いが通じたのか、大鷲は日が経つごとに、
こちらへと、近づいてくるようになり、
ある日ついに、窓の外の柵に止まりました。

お姫様は喜んで、
魔女のいない隙にと、急いで窓から身を乗り出して、
大鷲の足につかまろうとして、
その姿を見てしました。

その時、お姫様が目にしたのは、
大きな鷲ではなく、小さな蝙蝠でした。

その蝙蝠は、お姫様に向かつて、
もう誰も、お前を助けには来ない、
みんな、お前の事など忘れたのだ、
と、お姫様を罵りました。

お姫様は、その言葉に、
やはりこれも、失望させられるだけだったと、
最後の希望を失つてしまい、
ここまで繋ぎ止めていた心は、ついにくじけて、
窓から身を投げてしまいました。

蝙蝠はその鉤爪で、お姫様に掴みかかつてきましたが、
お姫様はそれを振り払い、あとちょっとの所で届かず、
お姫様は地面に落ちて、死んでしました。

お姫様が最後に見たのは、紛れもない大きな鷲で、
その正体は、大鷲に姿を変えた、
魔法使いの弟子だつたのに。

魔法使いの弟子は、貴女を助けに来ました、
祖国では多くの人々が、貴女の帰りを待っています、
と伝えたのに。

身を投げたお姫様を、必死で救おうと、
急降下して、追いかけたのに。

全ての善意は、魔女がかけた呪いのせいで、
歪んだ惡意としてしか、お姫様には届く事はなく、
こうして、気まぐれな魔女の悪戯により、
一人の罪もない、お姫様の人生は、
短く、そして不幸に、幕を閉じました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0403q/>

『囚われのお姫様』

2011年10月7日16時11分発行